

ぱれっと

5月号

仙台市市民活動サポートセンター通信

2014 No.177

“ぱれっと”には、サポセン にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく…そんな願いがこめられています。

特集

市民活動見楽部

―病気の子どもと家族のために

ドナルド・マクドナルド・ハウステンだ

マチノワ

普段の暮らしの中で「おかしいな」「こうしたらもっと良いまちになるのにな」と感じることはありませんか？

市民活動と聞くと、少し難しい気がしますが、すべては普通の市民のちいさな思いから始まります。



たとえば…



fashion



毎年5月の第2土曜日は
世界フェアトレード・デー
誰もがハッピーになるお買い物もの？

コーヒー生産国のほとんどは、開発途上国といわれる国々です。世界中で毎日飲まれているのに、生産者の生活は貧しく、不安定です。

みんな大好きチョコレート。そこには生産国である開発途上国が抱える児童労働問題が隠れています。

いろいろな国の技術や伝統文化がつまった、質の良い手づくりの雑貨や服。経済的・社会的に不利な立場にある人びとが自立するために頑張っています。

“フェアトレード”というしくみをご存知ですか？途上国の原料や製品を適性の価格で継続的に購入することにより、立場の弱い生産者や労働者の生活改善を目指す「貿易のしくみ」です。普段私たちが選んでいるモノの背景を知ること、自分にもできることが見えてきます。毎日飲むコーヒー、大好きなおやつ、今年のファッションなど、身近な買い物から、モノのライフサイクルを一緒に考えてみませんか？

▶ スターバックス、カルディ、無印良品など…フェアトレード商品は実は身近なところにもあります。※「フェアトレード」で検索！

▶ 参考資料：特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
<http://www.fairtrade-jp.org/>



ちらっと

KENGA KUBU

市民活動見楽部



「自分たちの住むまちや社会をもっと良くしよう！」と日々奮闘する人々。まちで行われている市民活動の様子を見て、聞いて、ご紹介します。みんなでのぞいてみましょう！

病気の子どもと家族のために ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい

ドナルド・マクドナルド・ハウスは、自宅から遠く離れた病院に入院しているお子さんと、治療に付き添うご家族のための滞在施設です。

コンセプトは「HOME AWAY FROM HOME」我が家のようにくつろげる第2のわが家。日常生活がスムーズに送れるように、プライバシーを守れるように配慮したベッドルーム(個室)、自炊ができるキッチン、リビング、ダイニング、ランドリーやプレイルームもあります。1人1日1,000円で利用できます。

日本には現在9つのハウスがあります。せんだいハウスは、2003年11月、東北地方初のハウスとして誕生しました。宮城県立こども病院に隣接し、病気の子どもを支える家族を支えています。

はじめた人の
想い

はじめは1974年、 アメリカのフィラデルフィア

フィラデルフィアでアメリカンフットボール選手として活躍していたフレッド・ヒル。娘が入院する

ことになり、付き添った彼は、何日も病院のソファで寝たり自販機で食事を済ませる

親たちの姿を目の当たりにし、自分自身もまた自宅から離れた病院で精神的・肉体的・経済的な負担を実感しました。病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設ができないものかと考えた彼は、病院近くのマクドナルドのオーナー・医師・仲間などの協力を得て、募金活動を進めました。そして、世界初のドナルド・マクドナルド・ハウスが誕生し、今では世界各地に広がっています。

▶ ボランティアが支えるせんだいハウス

せんだいハウスのボランティア登録人数は、約190名。主な活動内容は、受付などの事務ワーク、ベッドメイクや清掃などのハウスキーピングです。その他にも、中庭の花壇などを整備するグリーンボランティア、ベッドカバーなどを作成するキルトボランティアも活躍中。

▶ せんだいハウスの ボランティアさんに聞きました!

Q. どんなボランティアを、
どれくらいの頻度でしていますか？

A. 基本的に2週間に1回、3時間の活動です。私は午前の活動なので、主にベッドメイキングをしています。午後の方は、共用部分のお掃除をします。「少しでも利用される方の助けになれば」と思って活動しています。また、それがやりがいや喜びにつながっています。



DOKI
DOKI



▷▷ せんだいハウスのハウスマネージャー

中島 康志さんにインタビュー!



Q. ハウスマネージャーってどんなお仕事?

A. 利用者さんが快適に過ごせるように、スタッフやボランティアさんとともにハウスの運営を行うまとめ役です。ハウスを維持するにはお金も必要なので、資金調達のこととも考えます。

Q. わたしたちができる支援はありますか?

A. ボランティアとして活動するほかに、寄付をする、ハウスに必要な物品を提供する、そして、ハウスのことを「伝える」というのも、ひとつの支援のかたちだと思います。

Q. ボランティアをするにはどうすれば良いですか?

A. まずハウスに来て、見て、実際にやってみませんか? 継続してボランティアをやってもらえれば、一番嬉しいんですけど、1回だけでも意味はあると思うんです。新しい方が来ると、場の空気が変わりますから。年代も立場も違ういろいろな方々から、たくさんのことを教えられる場です。見学もOKなので、ぜひご連絡ください。



ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだい

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合 4-5-3

(JR 仙山線「陸前落合駅」より徒歩7分) HP: <http://www.dmhcj.or.jp/>

TEL: 022-391-1233 FAX: 022-392-5535 Twitter: @dmh_sendai

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

5/18

サポセンにハウスマネージャー中島さんがやってきます!

サポセンでは、せんだいハウスのハウスマネージャー中島康志さんに専門相談員をお願いし、個別相談会を行います!

病院に入院されている子どもたちや、その家族へのボランティア活動に関心がある方の個別相談会!

日時: 2014年5月18日(日) 午前10時~午後4時の間で1名あたり50分程度

場所: 仙台市市民活動サポートセンター3階

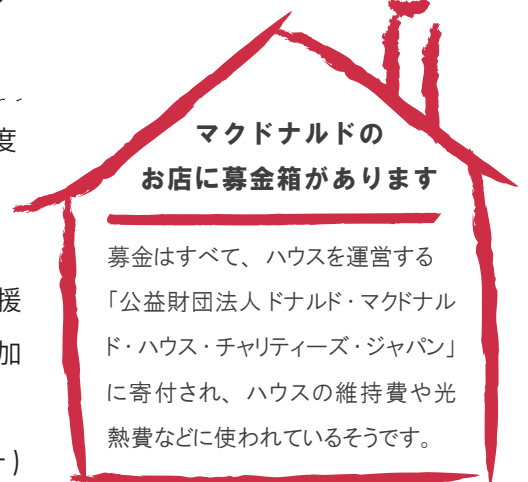
参加費: 無料/定員: 5名(個別相談、グループも可/先着順)

対象: おおむね55才以上の方で、入院されている子どもや家族に対する支援活動について知りたい方、病院内ボランティア活動に関心のある方、また参加したい方、参加の仕方や注意点を知りたい方など...

▶お申込み・お問い合わせ: TEL 022-217-3983(仙台市シニア活動支援センター)

**マクドナルドの
お店に募金箱があります**

募金はすべて、ハウスを運営する「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」に寄付され、ハウスの維持費や光熱費などに使われているそうです。



仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ

ハジマル、フクラムプロジェクト

「まちの宝探し」から
ハジマル、フクラムトークナイト (仮)

日時：2014年5月29日(木)午後7時～午後8時半

会場：仙台市市民活動サポートセンター 地下1階

参加費：500円(ワンドリンク付き) 定員：15名

【ゲスト】

(株)一ノ蔵 マーケティング室長 山田 好恵さん

NPO こよみのあしおと 代表 久保田 歩さん

ハジマル、フクラムプロジェクトとは？

自分の好きなこと、気になることをテーマにはじ
まった色々な活動について、はじめた人たちのおは
なしを聞きながら、互いのアイデアや想いをモク
モクとふくらませるトークイベントです。

お申込み / お問い合わせ：

仙台市市民活動サポートセンター

TEL：022-212-3010 / Mail：sendai@sapo-sen.jp

NPO 法人のみなさん！
事業報告書等は忘れずに
期間内に提出しましょう！

NPO 法人は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に前事業
年度の事業報告書等を作成し法人の事務所に備えお
くとともに、所轄庁に提出しなければなりません(所
轄庁に提出された事業報告書等は、市民の皆さんに
公開されます)。

仙台市内にのみ事務所を置くNPO法人の事業報告
書等は、市民協働推進課へ提出してください。提出
を行わない場合は、NPO法において過料や設立認証
の取り消し等の規定が設けられています。忘れずに
期間内に提出しましょう！

▷詳しくは仙台市のホームページをご覧ください。
<http://www.city.sendai.jp/manabu/shimin/npo/index.html>

▷お問い合わせ：市民協働推進課

TEL：022-214-1080

編集後記

木々の葉が芽吹き、新緑の季節となりました。
これから動植物たちの活動がどんどん活発になっていくように、サ
ポセンもいよいよ事業が本格始動します。チラシやホームページな
どでお知らせしますので、お楽しみに！また、ブログやtwitterで
も情報発信中です。ぜひチェックしてみてください。

つながる つなげる サポセン

▶仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体や NPO、ボランティアなど、
非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動し
ようと考えている人たちのための拠点施設です。

このようなご相談おまかせください

- ・市民活動の立ち上げ、法人格の取得・団体運営、組織運営
 - ・復興支援活動・シニア活動、セカンドライフ相談など
- まずは、お電話ください。

開館時間 平日：午前9時～午後10時 / 日祝：午前9時～午後6時

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)及び、
年末年始(12/29～1/3)

HP



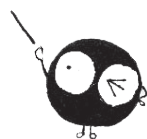
blog



Twitter



"Follow Me!"



▷ぱれっと読者アンケートにご協力をお願いします！



サポセンホームページからアクセスいただくか、
携帯電話等で右記の2次元バーコードを読み取っ
てご利用ください。

発行：仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

HP <http://www.sapo-sen.jp>

Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>

Twitter <https://twitter.com/sensapo>

発行日：2014年5月1日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター

編集人：菊地竜生 太田貴 菅野祥子 葛西淳子 松村翔子